

西班牙國

○神戸駐在領事御認可 今般「ドン、ホアキン、マルケス、イ、ヘルナンデス」(Don Joaquin Marquez y Hernandez) 神戸駐在西班牙國領事ニ任命セラレタルニ付二月二日附ヲ以テ其職務執行ニ關スル御認可狀御下付アリタリ

英

○商務書記官代理賜暇歸國 在本邦英國大使館商務書記官代理「ダブリ、ジェー、デイヴィス」一月二十八日東京出發賜暇歸國シタル旨同國大使ヨリ二月二日附ヲ以テ通知アリタリ

墨

○公使歸國 本邦駐劄墨西哥其國特命全權公使「ドン、エドゥアルド、ヘイ」二月十四日離任歸國スヘキニ付後任者到著マテ二等書記官「ホアキン、メサ」公使館事務代理トシテ館務ヲ處辨スヘキ旨同公使ヨリ同日附ヲ以テ通知アリタリ

敘位敘勳及行賞

外國勳章受領者

外務省條約局長從四位勳一等 山川 端夫
暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「グラン、クロア、クロロニス」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
總領事正五位勳四等 川島信太郎
暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「グラン、オフキシエー、クロロニス」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
陸軍歩兵大尉從六位勳六等 近藤 元

暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「オフキシエー、クロロニス」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
陸軍歩兵大佐從五位勳三等功五級 岩倉 正雄
暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「コンマンドール、レレフ、ン、ブラン」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
陸軍歩兵少佐正六位勳六等 出口 芳雄
暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「オフキシエー、レレフ、ン、ブラン」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
陸軍歩兵中尉從七位 松本 征夫
暹羅國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「ジュヴァリエー、レレフ、ン、ブラン」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
東京外國語學校教授從六位勳六等 吉田 彌邦
伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「コンマンドール、クロロニス」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
勳七等 藤本 英一
佛蘭西共和國政府ヨリ贈與シタル「ジュヴァリエー、ドラゴン、ド、ランナン」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
陸軍歩兵大尉正七位 武藤當次郎
秘魯共和國政府ヨリ贈與シタル「オフキシエー、ソレイユ」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
海軍大佐從五位勳三等 高崎 親輝
支那共和國政府ヨリ贈與シタル三等嘉禾章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル
領事正七位勳六等 根津 芳造
支那共和國政府ヨリ贈與シタル四等嘉禾章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セララル

用スルヲ允許セララル(以上二月七日賞勳局)

外國人敘勳

勳一等旭日大綬章 伊國赤十字社總裁上院議員 ジョヴァンニ、セラオロ
前同國赤十字社總裁上院議員 ジョゼフ、フラスカラ
伯爵ジュゼッペ、フラスカラ
勳二等旭日重光章 前同國赤十字社長 ジュゼッペ、フレットイ
同國赤十字社長 セザレ、バドゥエル
勳二等旭日重光章 佛領印度支那總督府總務長官ロバン
右本年一月二十一日附各頭書ノ通敍賜被仰出 北海道帝國大學敎師 瑞西人ハンス、コーラー
右同二十九日同上 在本邦墨國特命全權公使 ドン、エドゥアルド、ヘイ
勳一等瑞寶章 右二月七日同上

職務進退

●大正十四年一月十九日 臺灣總督府事務官 中瀬 拙夫
佛領印度支那へ出張ヲ命ス(臺灣總督府)
●大正十四年一月二十三日 總領事 堀内 謙介
歸任ノ途次大阪府へ立寄ヲ命ス
●大正十四年二月二十九日 大使館參事官 花岡 止郎
出納官吏ヲ命ス

和蘭國在勤ヲ命ス 外務書記生 水田 信利
賜暇歸朝許可ス 同 三好俊吉郎
歸朝ヲ命ス 同 古屋 克正
●大正十四年一月三十日 領事官補 太刀川英雄
歸朝ヲ命ス

●大正十四年一月三十一日 特命全權公使 佐藤 尚武
賜暇歸朝許可ス 降旗 澄次
外務省雇ヲ命ス 月俸六拾圓給與 外務省雇 降旗 澄次
●大正十四年二月三日 外務屬 武内時之助
任外務書記生 給五級俸 同 野替 外繁
獨國在勤ヲ命ス 外務書記生 武内時之助
シカゴ在勤ヲ命ス 外務省留學生 野替 外繁
ハバロフスクへ轉學ヲ命ス 外務書記生 高尾 正夫
同 中山 好松
同 深澤 退
外務書記生 大友 兼夫
同 川島直次郎
外務通譯生 久米野政男
同 湯畑 正一
外務書記生 田場 盛義
副領事 生島捨次郎
領事 五明 砂

(各通)

歸朝ヲ命ス

在長春領事館農安分館警察署長ヲ命ス
 ●大正十四年二月四日
 歸朝ヲ命ス
 ●大正十四年二月五日
 給三級俸
 ●大正十四年二月六日
 支那へ出張ヲ命ス
 ●大正十四年二月七日
 支那へ出張ヲ命ス
 ●大正十四年二月九日
 支那へ出張ヲ命ス
 ●大正十四年二月十日
 任外務省亞細亞局長 敍高等官二等
 大使館參事官正五位勳三等 青木 新

外務省警部 白神 榮松
 領事 古谷 榮一
 外務書記生 岩倉 篤
 公使館一等通譯官 宮川 船夫
 外務事務官 朝岡 健
 副領事 清水芳次郎
 總領事 縫田榮四郎
 任領事官補 敍高等官七等 外交官補從七位 高津 富雄
 獨國在勤ヲ命ス 大使館一等書記官 伊藤 述史
 賜二級俸 紐育在勤ヲ命ス 領事官補 高津 富雄
 佛國へ出張ヲ命ス 外務書記生 豐原 幸夫
 公使館一等書記官從五位勳五等 伊藤 述史
 任領事官補 敍高等官三等 伊藤 述史
 任領事官補 敍高等官七等 外交官補從七位 高津 富雄
 獨國在勤ヲ命ス 大使館一等書記官 伊藤 述史
 賜二級俸 紐育在勤ヲ命ス 領事官補 高津 富雄
 佛國へ出張ヲ命ス 外務書記生 豐原 幸夫
 大正十四年二月十日 大使館參事官正五位勳三等 木村 銳市
 任外務省亞細亞局長 敍高等官二等 大使館參事官正五位勳四等 青木 新

任總領事 敍高等官二等 青木 新
 ホノルル在勤被仰付 總領事 青木 新
 ホノルル在勤被免 同 山崎 馨一
 外務省亞細亞局長事務取扱ヲ免ス 外務次官 出淵 勝次
 臨時外務省ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス 待命中本俸全額ヲ賜フ 總領事 山崎 馨一
 國際聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會ニ於ケル帝國空軍代表者隨員被仰付 國際航空委員會ニ於ケル帝國代表者隨員ヲ命ス 海軍大尉 荒木 敬吉
 國際聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會ニ於ケル帝國空軍代表者隨員被免 國際航空委員會ニ於ケル帝國代表者隨員ヲ免ス 同 可兒滿壽夫
 大正十四年二月十日對支文化事業調査會幹事長ニ就職 外務省亞細亞局長 木村 銳市
 伯刺西爾國ニ於ケル邦人移植民ニ關スル調査ヲ囑託ス 井上 雅二
 傅山へ出張ヲ命ス 外務書記生 松村 雄藏
 ●大正十四年二月十二日 外務省事務ヲ囑託ス 海軍大佐 百武 源吾
 佛國へ出張ヲ命ス 外務省囑託 百武 源吾
 名譽領事ヲ命ス 外務省囑託 レオポルド、デ、マツトス
 マナオス駐在ヲ命ス 名譽領事 レオポルド、デ、マツトス
 ●大正十四年二月十三日

錦鶏間祇候被仰付(宮内省) 正三位勳一等 畑 良太郎
 出納官吏ヲ命ス 外務事務官 朝岡 健
 農商務技師 右手寛太郎
 佛領印度支那ニ出張ノ序ヲ以テ暹羅、海峽植民地及蘭領印度へ出張ヲ命ス
 ●大正十四年二月十四日
 (各通)
 公使館理事官 古賀才太郎
 外交官補 大熊正七郎
 副領事 富田安兵衛
 歸朝ヲ命ス
 ●大正十四年一月十六日
 外務省巡查 關佐次兵衛
 在間島總領事館局子街分館警察署諸ヲ命ス 林 香松
 在間島總領事館局子街分館涼水泉水警察分署諸ヲ命ス 同
 ●大正十四年一月二十六日
 外務省巡查 星野 精藏
 歸朝ヲ命ス
 ●大正十四年一月二十八日
 外務省巡查 李 璟 鎔
 (各通) 同 羽山喜一郎
 同 山本 稔
 賜暇歸朝ノ件許可ス

●大正十四年一月三十日
 在福州總領事館警察署諸ヲ命ス 外務省巡查 吉田 一徳
 正 誤
 外務省報第七十六號本欄二十二頁上段「副商務官音藤安人」及「商務書記生井上豐次」ノ二行ハ誤記ニ付抹消ス

發著及動靜
 ●出發及赴任ノ部
 堀口特命全權公使 二月三日羅國(ブカレスト) 出發歸朝ノ途ニ就ケリ
 山内總領事 二月十四日哈爾濱出發同上
 杉村 恒造(總領事) 二月九日「マニラ」出發同上
 玉木勝次郎(領事) 二月一日東京出發「リッヅブル」へ赴任
 黒木時太郎(副領事) 二月十三日「ボートサイド」出發歸朝ノ途ニ就ケリ
 山崎 壯重(同) 二月七日東京出發「シドニー」へ赴任
 西 巖(商務官) 一月三十一日紐育出發歸朝ノ途ニ就ケリ
 大熊 與吉(大使館三等書記官) 二月四日倫敦出發米國經由歸朝ノ途ニ就ケリ
 木内 良胤(外交官補) 二月二十一日巴里出發米國經由歸朝ノ途ニ就ケリ
 田中 信男(同) 二月一日「ツルソー」出發歸朝ノ途ニ就ケリ